

東北森林管理局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：令和元年10月21日)

開催日及び場所		令和元年6月27日(木) 東北森林管理局4階第3会議室		
委員		伊勢 昌弘(弁護士) 河野 隆治(公認会計士) 福原 斉(秋田魁新報社 統合編集本部整理部長)		
審議対象期間		平成31年1月1日～平成31年3月31日		
審議対象案件		115件 うち、1者応札件数 34件 契約の相手方が公益社団法人等の件数 1件		
抽出案件		24件 うち、1者応札件数 8件 (抽出率 20.9%) (抽出率 23.5%) 契約の相手方が公益社団法人等の件数 1件 (抽出率 100%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	6件 うち、1者応札件数 4件 契約の相手方が公益社団法人等の件数 0件	
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
	随意契約	1件		
	測量・建設コンサルタント等業務	一般競争	4件 うち、1者応札件数 0件 契約の相手方が公益社団法人等の件数 0件	
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
	その他の随意契約		0件 うち、契約の相手方が公益社団法人等の件数 0件	
	物品・役務等	一般競争	10件 うち、1者応札件数 5件 契約の相手方が公益社団法人等の件数 1件	
		指名競争	該当なし	
		随意契約(企画競争・公募)	該当なし	
随意契約(その他)		3件 うち、契約の相手方が公益社団法人等の件数 0件		
(特記事項)				

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	○概要 ①再入札をしている案件が数件あるが、再入札をする必要性は何か。	①再入札については入札の際に札が入ったものの不落札であった案件で、入札執行官が入札金額や工事の内容により、速やかに実施しなければならないと判断された場合は、その日のうちに原則二回目まで実行している。
	②総合評価落札方式について、各評価項目は公表されているのか。	②公表している。昨年度までは評価値のみの公表であったが、今年度の4月分の事業より、技術評価点の内訳も公表している。
	○抽出案件 ①No. 59について、総合評価落札方式により、入札金額が他者より高い者が落札しているが、逆転の理由、また総合評価落札方式の内容を教えてください。	①総合評価落札方式については入札金額だけでなく、技術提案事項についても評価することとなり、各事業者共に評価をする中で業務の実績、業務計画の工程、配置技術者の関係、安全対策、雇用状態等を点数化し、高い点数を取った事業者が落札するためである。
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部長が講じた措置]	平成30年度第4四半期について、おおむね適正に行われていたものと判断する。	

事務局：東北森林管理局 企画調整課

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。